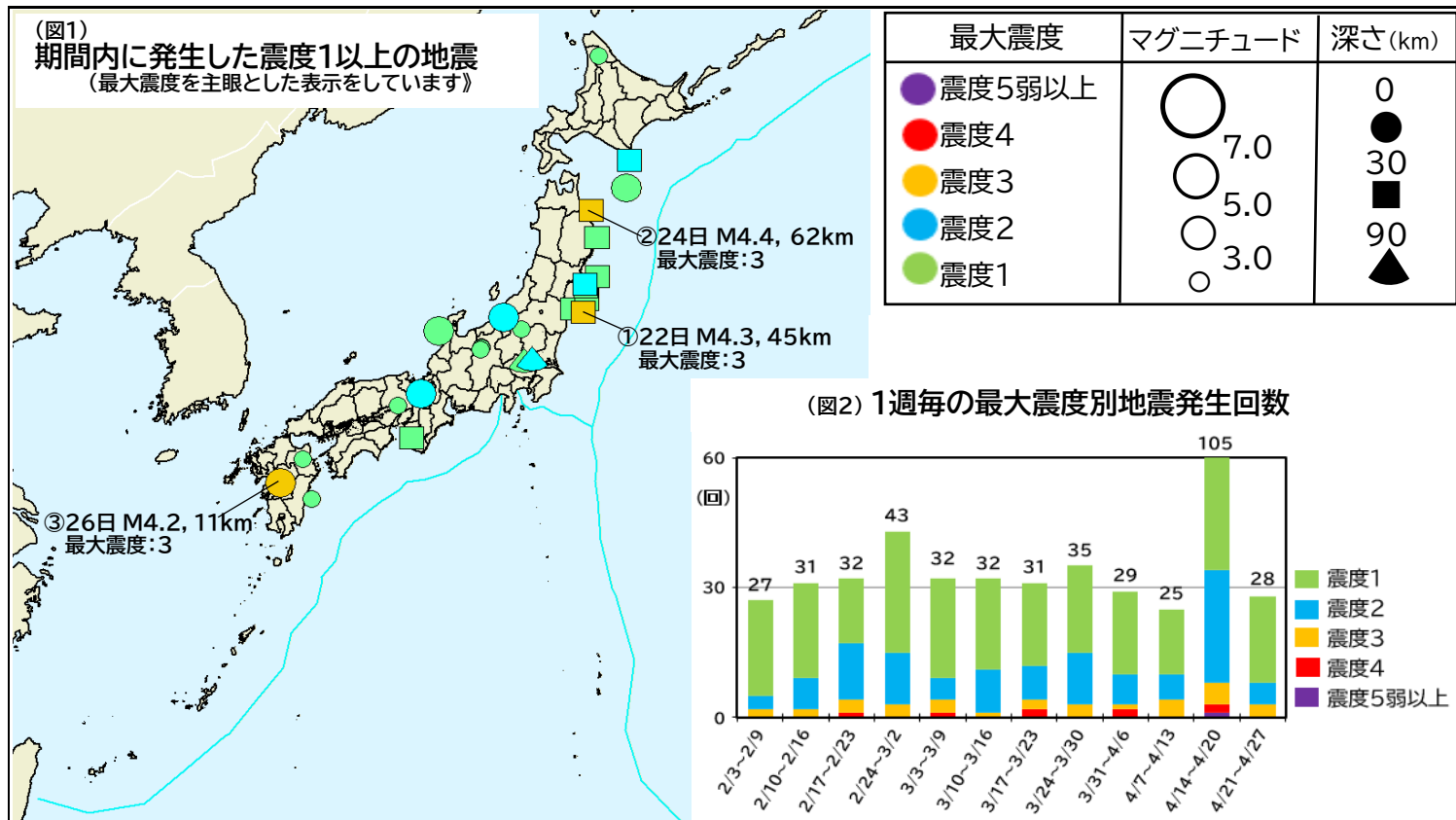


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が28回発生。 ■

- ①4月22日01時48分に福島県沖で発生した地震(M4.3、深さ45km)により、福島県檜葉町で震度3を観測したほか、宮城県から茨城県にかけて震度2～震度1を観測。
- ②4月24日09時07分に岩手県沖で発生した地震(M4.4、深さ62km)により、青森県八戸市・野辺地町・三戸町・五戸町・南部町で震度3を観測したほか、北海道南部から宮城県にかけて震度2～1を観測。
- ③4月26日12時06分に熊本県熊本地方で発生した地震(M4.2、深さ11km)により、熊本県熊本市・八代市・宇土市・宇城市・氷川町で震度3を観測したほか、九州地方で震度2～1を観測。

トピックス

■ 大分県の地震活動 ■

- ・前期間の4月18日に大分県中部で発生した地震(M3.7、深さ8km)で別府市で震度3を観測しました。一週遅れになりますが、最近の大分県の地震活動を見てみます。
- ・大分県内で被害を伴う地震は、九州地方の下に沈み込んだフィリピン海プレートと陸域のプレートとの境界付近で発生する地震と、陸域の浅いところで発生する地震がありますが、ここでは陸域の浅いところで発生する地震活動を見てみます。
- ・陸域の浅いところで発生する地震の多くは、別府-島原地溝帯に沿って発生しており、被害地震の多くは別府湾周辺から由布市周辺で発生しています(図3)。
- ・1970年以降の主な地震活動としては、1975(S50)年4月21日に発生した地震(M6.4)により、大分市と熊本県南阿蘇村で震度4、日田市で震度3などを観測(旧震度階級)→(後の現地調査によって震央付近の最大震度は震度6程度と推定された)。この地震により大分県内で負傷者22人、全壊77棟、半壊115棟などの住家被害が生じました。
- ・2007(H19)年6月6日から別府市付近で地震活動が始まり、6月10日にかけて最大震度4が3回、最大震度3が6回など、震度1以上を63回観測しました(最大Mは4.9)。この地震により重傷者1名、住宅の水道管からの漏水3戸の被害が生じました。
- ・2016(H28)年4月14日からの一連の熊本地震の活動の中で発生した4月16日のM5.7などの地震があります。

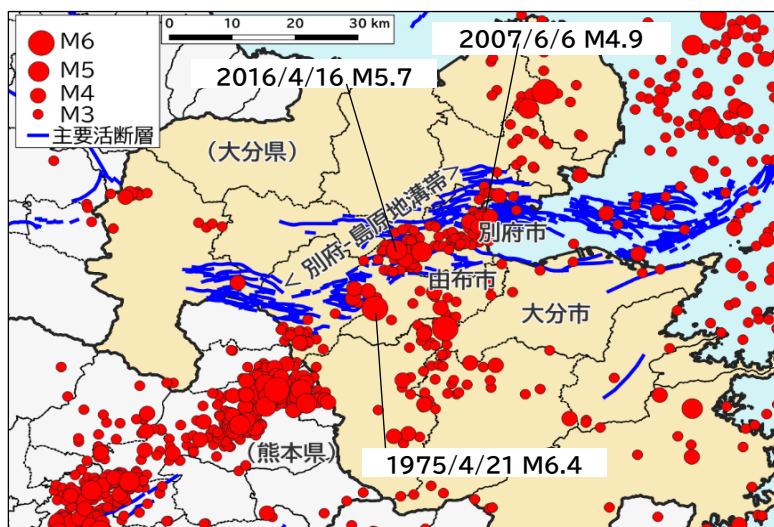


図3: 震央分布図 1970/1/1 --- 2025/4/26 M $\geq$ 3.0
青実線は主な活断層